



上智大学イベロアメリカ研究所
2023 年度活動報告
(2023 年 4 月～2024 年 3 月)

No. 31 (2024 年 4 月)

§ 研究会

◆ 研究所共同研究「ラテンアメリカ諸国の独立を再考する」

研究代表者：谷 洋之

共同研究者：Nancy ALAS MORENO、Nilta DIAS、Lucila GIBO、Nina HASEGAWA、幡谷則子、岸川 毅、
子安昭子、宮入 亮、水谷裕佳、Mauro NEVES、田村梨花、内村俊太、矢澤達宏

海外出張： 内村俊太 (2 月 18 日～3 月 4 日) スペイン
谷 洋之 (2 月 21 日～3 月 4 日) メキシコ

研究会： 5 月 25 日「研究会幹事の選出、研究課題設定について」
11 月 28 日「『ネイション』理解についての概観」

◆ ランチタイム・フリートーク

- | | | |
|---------|-----------|---|
| 第 116 回 | 5 月 2 日 | 長谷川ニナ「秋発行予定『ホセ・グアダルルーペ・ポサダの時代：十九世紀メキシコ大衆印刷物と版元バネガス＝アロヨ工房』について」 |
| 第 117 回 | 5 月 29 日 | ニウタ・ジアス「Educação escolar indígena no Brasil」 |
| 第 118 回 | 6 月 8 日 | 子安昭子「ルーラ政権の多方位外交」 |
| 第 119 回 | 7 月 28 日 | Cristina BARRÓN「Los primeros contactos del mundo hispánico con Japón durante los siglos XVI y XVII」 |
| 第 120 回 | 10 月 19 日 | 水谷裕佳「メキシコ・ハワイ間のクラリオン・クリッパートン海域(CCZ)における資源開発を通じて再考する地域研究」 |
| 第 121 回 | 11 月 28 日 | 齋藤亜子「女性の政治参加と慣習—メキシコ、オアハカ州の事例から」 |
| 第 122 回 | 12 月 14 日 | 稲葉奈々子「日本における在留資格がないペルー人移民—イタリアとの比較の観点から」 |
| 第 123 回 | 1 月 22 日 | 田村梨花「ブラジルにおける教育政策の現在—全日制化をめぐる議論の検討から」 |

§ 公開講座「ラテンアメリカ・レクチャーシリーズ」

第 11 回「第 2 のピンクタイドをどう解釈するか」

【コーディネーター・司会】岸川 毅 (イベロアメリカ研究所所員・総合グローバル学部教授)

◆ 6 月 16 日 「ブラジル」

舛方周一郎 (東京外国語大学世界言語社会教育センター講師)

◆ 6 月 23 日 「アルゼンチン」

大場樹精 (イベロアメリカ研究所準所員・上智大学他非常勤講師)

◆ 6 月 30 日 「チリ」

浦部浩之 (獨協大学国際教養学部教授)

(オンライン開催)

§ シンポジウム

- ◆ 11月20日「ラテンアメリカにおける人の移動」

パネリスト：ギボ・ルシーラ（イベロアメリカ研究所所員・外国語学部准教授）

大場樹精（イベロアメリカ研究所准所員・上智大学他非常勤講師）

村瀬幸代（イベロアメリカ研究所准所員・北海道大学他非常勤講師）

水谷裕佳（イベロアメリカ研究所所員・グローバル教育センター教授）

司会：矢澤達宏（イベロアメリカ研究所所員・外国語学部教授）

<Sophia Open Research Weeks 参加企画>

（オンライン開催）

- ◆ 12月2日「日本ペルー修好150年記念シンポジウム—太平洋をつなぐ過去と未来—」

プログラム

開会の辞、趣旨説明／谷 洋之（イベロアメリカ研究所所長・外国語学部教授）

講演

「日本とペルーの外交関係」／遅野井茂雄（筑波大学名誉教授）、村上勇介（京都大学教授）

「日本とペルーの経済関係」／清水達也（JETRO アジア経済研究所地域研究センター長）

「ペルーの日系社会」／山脇千賀子（独立研究者）

「ペルーの華僑華人社会」／園田節子（立命館大学教授）

「日本とペルーの文化交流」／関 雄二（国立民族学博物館名誉教授）

総合討論 司会：岸川 毅（イベロアメリカ研究所所員・総合グローバル学部教授）

閉会の辞／村上勇介

〈主催：イベロアメリカ研究所〉

〈共催：科学研究費 基盤研究 A「低成長期中南米の政党システム変動の比較分析」（21H04392）／

科学研究費 基盤研究 A「接近する東アジアとラテンアメリカ」（23H00041）〉

§ 講演会

- ◆ 12月5日 トークセッション「コロンビアにおける女性作家の道程」

Pilar QUINTANA（コロンビア作家）

村岡直子（翻訳家）

司会：幡谷則子（イベロアメリカ研究所所員・外国語学部教授）

〈主催：イベロアメリカ研究所、協力：コロンビア大使館〉

（オンライン開催）

§ 出版物

- ◆ 『2022年度活動報告』No. 30（電子版のみ）

- ◆ *Boletín Informativo*, No. 68（電子版のみ）

- ◆ 高井菜穂子「コロンビア、キンディオ県における公教育の教材開発—国際協力とその適応の過程—」
（ラテンアメリカ研究 [ILA] No.46）（ISBN 978-4-904704-25-7）

地図

序章

第Ⅰ章 国際教育協力と内発的発展

第Ⅱ章 ラテンアメリカとコロンビアにおける教育の問題とその背景

第Ⅲ章 キンディオ県の教師グループによる教材開発

第Ⅳ章 プロジェクト・コセチャの今

第Ⅴ章 考察：プロジェクト・コセチャにみる国際協力の地域への適応

終章

参考文献

- ◆ ギボ・ルシーラ／谷 洋之編「ラテンアメリカにおける人の移動—移動の理由、特性、影響の探求—」
(ラテンアメリカ・モノグラフ・シリーズ [LAMS] No.31) (ISBN 978-4-904704-26-4)
まえがき
米国メキシコ国境地域の街イーロイに集う先住民と彼らを取り巻く経済活動／水谷裕佳
国内避難民(IDP)の実態と課題—コロンビアの事例から—／幡谷則子
ハイチ、ベネズエラからの移民流入がチリの輸出農業に与える影響についての一考察／村瀬幸代
ラテンアメリカにおける移出民の増加の背景と影響—アルゼンチンを事例として—／大場樹精
ブラジルにおける沖縄県移民—沖縄県人会カンポ・リンポ支部の同郷団体と沖縄語の維持・継承—
／ギボ・ルシーラ、カナシロ・ユキヒデ・レイナウド
ブラジルの黒人とアフリカの脱植民地化—父祖の地の復権にディアスポラはいかに呼応したか—／
矢澤達宏

◆ *Encontros Lusófonos* (ISSN 1346-5058), No.25 (2023)

論文

声なき北東部の女性たちが織り成す〈道〉—マリレーニ・フェリント『チジュコパーポの女たち』
／江口佳子

ブラジル外交は環境テーマをどう扱ってきたか—半世紀の推移を跡づける／子安昭子

O *Reaction Paper* como gênero discursivo: uma reflexão sobre ensino de Português como Língua Adicional /
Thamis Larissa SILVEIRA

研究ノート

Challenges to Realizing Brazilian Educational Policy Ideals: Teachers' Language and Mediation of Learning /
Eliseu PICHITELLI and Izumi NOZAKI

Reflecting on Inequitable Teaching in the Pandemic: New Public-School Teachers and Distance Learning in
Brazil / Izumi NOZAKI

編集後記

◆ 『イベロアメリカ研究』(ISSN 0388-1237)

・第45巻第87号(2023年度)

論文

Lecciones de América Latina y Asia sobre política comparada: tipo de regímenes y modo de gobernar / Jaime
ARAGÓN-FALOMIR

The Mysterious Cities of Gold: Technology, Utopia, and Desire / Leonel Enrique BUELVAS-GARCÍA

Mexicanos en el Gran Terremoto de Kantō de 1923 / Carlos USCANGA

メキシコの同性婚認可における最高司法裁判所の存在感—人権意識の進展、司法制度改革、2013年
アンパロ法の施行—／上村淳志

米国における日系ラテンアメリカ人の教育戦略—日系ペルー人の強制収容後の米国社会への適応の経
験から—／松田デレク

研究ノート

Dialogue with Fruit Trees, Dialogue with People: Knowledge Sharing in Agricultural Technical Assistance for
Contemporary Pilar do Sul Japanese Orchards / Ryu YOSHIMURA

リオデジャネイロ州における「警察の介入による死者数」の考察—2007～2018年の治安政策に注目
して—／安良城桃子

治安・麻薬・汚染—ポストコロナ禍のウルグアイが直面する試練—／中沢知史

資料

ラテンアメリカ日誌—2022年7月～12月—

ラテンアメリカ日誌—2023年1月～6月—

研究所ニュース
活動日誌
出版物リスト
編集後記

§ 来訪者

3月28日 三木悠子（フォーダム大学准教授）

§ 図書室

蔵書数：41,034冊（和書4,911冊、洋書36,123冊）
購入図書：163冊（和書60冊、洋書103冊）
受贈図書：143冊（和書14冊、洋書129冊）
受入継続雑誌：26点、うち洋雑誌15点

§ 人事

- ◆ 客員所員 大越翼、Bernat MARTÍ OROVAL（任期4月1日～3月31日）。
- ◆ 準所員 藤井礼奈、村瀬幸代、大場樹精、齋藤亜子（任期4月1日～3月31日）。
- ◆ 客員研究員 Cristina BARRÓN（6月29日～7月31日）。

§ その他のラテンアメリカに関する所員業績（ABC順）

◆ALAS MORENO, Nancy Eunice

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	『『国際商事 ADR に関するグローバル原則』の探求』日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(A)、研究課題番号:22H00045、研究代表者:高杉直[同志社大学])、2022/4/1～2027/3/31。
9月30日	共著	“Remoción arbitraria de Magistrados de las Salas de lo Constitucional en países centroamericanos: perspectivas desde la realidad hondureña y salvadoreña y el rol del Sistema Interamericano de Derechos Humanos para el restablecimiento de la independencia judicial y el Estado de Derecho” en Abello Galvis, Ricardo y Walter Arévalo-Ramírez(eds.), <i>Derecho internacional a través de casos. Reflexiones sobre territorio, medio ambiente, derecho penal internacional y arbitraje de inversión</i> , Colombia, Editorial Universidad de Rosario, pp. 365-394 (ISBN 9789585002258).
10月21日	発表	“The U.S.-China trade war and its effects in Latin America”, The Canon Institute for Global Studies (CIGS) 2023 Presentation Training, Tokyo.
2月1日	発表	「アルゼンチンにおける仲裁法制」、日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(A)、課題番号:22H00045、研究代表者:高杉直)定例研究会。

◆DIAS, Nilta

5月	項目執筆	Córdova Quero, Hugo y Nilta Dias “Este género que (¿no?) soy yo” em Córdova Quero, Hugo y Cristian Mor(Eds.), <i>El Hilo de Ariadna: Entretejiendo saberes en clave interdisciplinaria</i> , Instituto Sophia Press, pp.43-88 (ISBN 9781961316034).
8月11日	論文	Córdova Quero, Hugo and Nilta Dias “Cruising foreign territories: Sexuality, faith, and intercultural relations among Japanese Brazilian queer im/migrants in Japan” em <i>Horizontes Decoloniales</i> , V.8, pp.181-226.

8月18日 ～9月15日	現地調査	ブラジル、マト・グロソ州クイアバ市とペイシヨト・デ・アゼベド市で先住民とキロンボラのコミュニティにおける教育と日常生活に関するフィールドワーク。UFMT 大学および USP 大学の教員・研究者と意見交換。
3月	博士論文	“Migración transnacional y educación: Un análisis de experiencias socioeducativas de jóvenes brasileños en Japón”. Doctorado en Estudio Sociales de América Latina, Línea de Investigación en Socio-antropología de la educación. Centro de Estudios Avanzados, Facultad de Ciencias Sociales, Universidad Nacional de Córdoba, Argentina.

◆HASEGAWA, Nina

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「Entre la voz y el impreso: fronteras y multimedialidad」メキシコ国立自治大学研究補助金(PAPIIT UNAM)(研究課題番号:IG400623、研究代表者:Mariana Masera [メキシコ国立自治大学教授]、2023年～2025年)。
6月3日	討論者	吉川恵美子「エウニエホ・バルバとラテンアメリカ演劇」、日本ラテンアメリカ学会第44回定期大会(明治大学)。
9月28日	著書	長谷川ニナ著、八木啓代編訳『ホセ・グアダルーペ・ポサダの時代—十九世紀メキシコ大衆印刷物と版元バネガス＝アロヨ工房』、上智大学出版 (ISBN 9784324113295)。
11月17日	討論者	Eugenia Montalván Colón 著『Prefiero escribir. La literatura como arma feminista』刊行記念講演会、在日メキシコ大使館内「エスパシオ・メヒカーノ」。

◆幡谷 則子

4月1日 ～3月31日	研究代表者	「辺境コミュニティの排除と包摂—紛争後コロンビアにおける社会的主体の創生」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)、課題番号:19K12511)、2019/4/1～2024/3/31。
7月14日 ～8月12日	出張	教皇立ハベリアナ大学との教員交換プログラムによるコロンビア出張。EAR(農村開発環境問題学部)に客員研究員として受け入れ。
7月23日 ～30日	現地調査	サンタンデル県(サンヒル、チャララ、ベレス、ランダスリ)における連帯経済のエコツアーリズム、ベレスのコミュニティ開発についてヒヤリング。
8月12日 ～29日	出張	「ホンジュラス UNHA の国際協力修士プログラムの強化プロジェクト」に関する講義、現地調査および学生指導。
9月21日 ～11月23日	現地調査	日本学術振興会科学研究費補助金「辺境コミュニティの排除と包摂—紛争後コロンビアにおける社会的主体の創生」に関する現地調査。チョコ県、ボリバル県南部、サンタンデル県、カリ市。
11月26日	学会(セッションモデレーター)	「Análisis sociohistórico de configuración del territorio transfronterizo colombo-venezolano: Una mirada sistémica de causas y efectos socioambientales de la migración internacional」ラテン・アメリカ政経学会全国大会 企画セッション。
10月	共著	“Solidarity economy movement in Colombia: Two regional experiences promoted by popular education for integral change” (with Fajardo Rojas), in Ana Margarida Fernandes Esteves, Tom Henfrey, Luciane Lucas dos Santos, Leonardo Leal (eds.), <i>Solidarity Economy: Alternative Spaces, Power and Politics</i> , New York, Routledge, pp.141-158 (ISBN 9781003306344).
11月	論文(招待)	「ラテンアメリカの連帯経済—コロンビアの事例を中心に—」『農村計画学会誌』。

2月	論文	「ラテンアメリカにおける連帯経済：可能性と挑戦—コロンビアの事例を中心に」『生協総研レポート』No.100(社会的連帯経済研究会(2))、2-23 ページ。
3月9日 ～22日	出張	「ホンジュラス UNHA の国際協力修士プログラムの強化プロジェクト」に関する資料収集、現地調査および学生指導。

◆岸川 毅

4月1日 ～3月31日	研究代表者	「接近する東アジアとラテンアメリカ—新たな太平洋世界の形成—」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(A)、課題番号:23H00041)、2023/4/1～2027/3/31。
4月2日	解説	「中米2ヵ国訪問の台湾・蔡英文総統「断交ドミノ」は今後も起きる?」『朝日新聞』(電子版)。
5月18日	論文	「中南米:「台湾断交」を選択した国、しなかった国」『Foresight』(電子版)。
6月1日	論文	「ラテンアメリカの現在—後退する米国の覇権と中国の影」『修親』第767号、10-13 ページ。
6月13日	解説	「中国がキューバに情報収集施設を設置 バイデン政権警戒強める」『NHK ニュース9』(ウェブ版)。
7月12日	解説	「中米、台湾から中国への乗り換えで輸出拡大できる? 効果に疑問符」『毎日新聞』(電子版)。
8月21日 ～9月11日	現地調査	ブラジル、アルゼンチン。東アジア・ラテンアメリカ関係に関する聞き取りと資料収集。
9月1日	論文	「中国の対ラテンアメリカ政策—グローバルサウス外交の理念と実践—」『東亜』第675号、18-25 ページ。
3月10日 ～23日	現地調査	ドミニカ共和国、メキシコ。東アジア・ラテンアメリカ関係に関する聞き取りと資料収集。

◆子安 昭子

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「接近する東アジアとラテンアメリカ—新たな太平洋世界の形成—」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(A)、課題番号:23H00041、研究代表者:岸川毅[上智大学])、2023/4/1～2027/3/31。
8月	論文	「ブラジルの多方位外交—国益重視と多極世界のビジョンで挑むルーラ大統領」『国際問題』714号、17-26 ページ。
8月18日 ～31日	出張	ブラジル、サンパウロ。在外研究。
9月19日	登壇者	『国際問題』ウェビナー「分断化する世界と途上国の外交」(2023年8月号)を論じる(オンライン)。
11月	論稿	「BRICS プラスとブラジル—立ち位置と国益を確保できるか」『ブラジル時報』2023年11月号、5 ページ。
12月2日	討論者	日本ラテンアメリカ学会東日本部会、舛方周一郎「Wind, Solar and Nuclear: Explaining the Strategies of Emerging Power's Energy Diplomacy in Brazil」に対する討論(オンライン)。
1月25日	論文	「ルーラ外交1年の総括と展望」『ラテンアメリカ時報』2023/24 冬号、6-9 ページ。
3月20日	編著書	「パラリンピック難民選手団からみえてくるもの」久田満編著『パラリンピックと共生社会 2020 東京大会のレガシーとは何か』明石書店、93-106 ページ(ISBN 9784750357294)。
3月22日	palestrante	Fundação Getúlio Vargas(FGV) Palestra, <i>Relações entre Brasil e Japão a partir da visão de mundo sob a perspectiva do Japão</i> (online)。

◆宮入 亮

1月20日	発表	「貧困の／のための語りはあるのか——フェヘスの短編集『サンパウロにシロはいない』(Ninguém é inocente em São Paulo)」、主催者・武田千香、ブラジルのマイノリティ文学研究会(日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))「ブラジルのマイノリティ文学の複合性:交差する人種・ジェンダー・クラス」課題番号:21K00432、研究代表者:武田千香[東京外国語大学])、(オンライン開催)。
-------	----	--

◆水谷 裕佳

4月1日 ～3月31日	研究代表者	「太平洋およびメキシコ湾の洋上を含めた現代の米国メキシコ境界地域に関する包括的研究」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)、研究課題番号:19K12531)、2019/4/1～2025/3/31。
4月1日 ～3月31日	研究代表者	「米国領内の先住民コミュニティによるアクセスが困難な場の文化や記憶の表象と継承」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)、研究課題番号:23K11565)、2023/4/1～2027/3/31。
8月2日 ～17日	出張・現地調査	米国ハワイ州。日本学術振興会科学研究費補助金「太平洋およびメキシコ湾の洋上を含めた現代の米国メキシコ境界地域に関する包括的研究」(課題番号:19K12531)による現地調査。ハワイとメキシコ間の海域に関する資料収集。

◆NEVES, Mauro

8月14日 ～9月8日	出張・現地調査	ブラジル。現地調査およびブラジリア大学とカンピナス大学の研究者と意見交換。
9月6日	講演	“História da Música Popular Coreana: Como se chegou ao K-POP”(カンピナス大学リメイラキャンパス社会学部)。

◆田村 梨花

4月5日	コラム	「「ノンフォーマル教育」から学ぶ、食と農と私のつながり」、池上甲一、斎藤博嗣『世界の食・農林漁業・環境シリーズ① ほんとうのグローバリゼーションってなに?』、農山漁村文化協会、134-135 ページ(ISBN: 9784540221132)。
6月29日	講演	「ブラジルにおける民衆教育:パウロ・フレイレの思想と NGO による実践」連帯経済勉強会(オンライン)。

◆谷 洋之

4月1日 ～3月31日	共同研究 (研究分担者)	「接近する東アジアとラテンアメリカー新たな太平洋世界の形成ー」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(A)、課題番号:23H00041、研究代表者:岸川毅[上智大学])、2023/4/1～2027/3/31。
8月27日 ～9月11日	出張	メキシコ、メキシコ市およびグアダハラ。日本学術振興会科学研究費補助金「接近する東アジアとラテンアメリカー新たな太平洋世界の形成ー」(課題番号:23H00041)のための現地調査。
1月25日	執筆	・第1章「<イントロダクション>『ラテンアメリカ』とはどんなところか」1-20 ページ ・第5章「<人の移動>なぜ人々は国境を越えて移動するのか」69-85 ページ ・第14章「<経済史>経済発展とは何かを経済史から考える」211-229 ページ 清水達也編『ラテンアメリカ経済入門』、アジア経済研究所(ISBN 978-4-258-04659-1)。

2月21日 ～3月4日	出張	メキシコ、メキシコ市およびベラクルス。イベロアメリカ研究所共同研究「ラテンアメリカ諸国の独立を再考する」およびメキシコ農業に関する個人研究のための現地調査。
----------------	----	--

◆内村 俊太

3月17日	研究ノート	「近世スペインの政教関係に関する予備的考察」『上智ヨーロッパ研究』15号、127-137ページ。
-------	-------	--

◆矢澤 達宏

4月1日 ～3月31日	研究代表者	「旧ポルトガル領アフリカにおける反植民地主義言説の再検討—アフリカ人新聞の分析から」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)、課題番号: 20K12353)、2020/4/1～2025/3/31。
----------------	-------	---

上智大学イベロアメリカ研究所

〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町 7-1

Tel. 03-3238-3530
E-mail: ibero@sophia.ac.jp
URL: <http://dept.sophia.ac.jp/is/ibero>

所長	谷 洋之
副所長	Lucila GIBO
正所員	Nancy Eunice ALAS MORENO Nilta DIAS Nina HASEGAWA 幡谷則子 岸川 毅 子安昭子 宮入 亮 水谷裕佳 Mauro NEVES 田村梨花 内村俊太 矢澤達宏
名誉所員	Jaime FERNÁNDEZ 堀坂浩太郎 Osvaldo HURTADO 今井圭子 三田千代子 清水憲男 高山智博 Helena TOIDA 吉川恵美子